釧路湿原川レンジャー News

2013　Vol.5

第4回「釧路湿原川レンジャー学習会」が開催されました

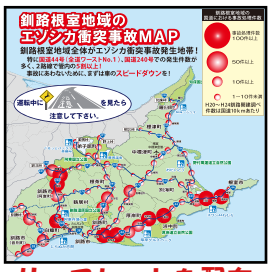
平成２６年　２月２６日(水)に、２３名が参加して「第４回釧路湿原川レンジャー学習会」を開催しました。今回は、鶴居村での「釧路湿原の野生動物に関する学習」、久著呂川での「自然再生事業現場見学」と釧路河川事務所での「観察活動報告会」を行いました。

位置図

「釧路湿原の野生動物に関する学習」

●エゾシカについて

北海道東部では、エゾシカによる農林業被害や交通事故が年々増加しており、行政では様々な取り組みを行っています。北海道開発局　釧路開発建設部では、国道沿いに**「エゾシカ侵入防止柵の設置」**や**「リーフレットの作成」**などの交通事故対策を実施しています。また、環境省　釧路自然環境事務所では**「釧路湿原エゾシカ対策検討会議」**を設置し、湿原などで採食状況調査や達古武で囲いワナによる試験捕獲を実施しています。



リーフレットを配布

東邦コンサルタント提供
被害が拡大

●タンチョウについて

最初に給餌を行っている、鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリと雪裡川の音羽橋でタンチョウの観察を行いました。なお、音羽橋では、タンチョウのねぐらを唯一脅かすことなく観察・撮影することができます。

タンチョウは、北海道東部に世界の個体数の半数以上が生息しています。特に越冬期になると釧路管内の給餌場に9割以上の個体数が集中することから、生息を脅かす要因として、鳥インフルエンザなどの感染症が強く懸念されています。そこで、環境省は道内において生息分布が確実に進むことを目標に、平成２５年に**「タンチョウ生息地分散行動計画」**を策定しました。この計画では、最終的にタンチョウが給餌に依存せず、自然状態で安定的に存在できるような状態を目指しています。

タンチョウ・ハクチョウ

伊藤タンチョウサンクチュアリでの観察

飛び立つタンチョウ

タンチョウ（雪裡川）

音羽橋でねぐら観察

「自然再生事業（久著呂川土砂流入対策）」現場見学

久著呂川では河川の氾濫時に土砂調整地で土砂を捕捉し、湿原に土砂がたまらないような対策をたてています。昨年度、左岸の土砂調整地として人工ケルミ※が完成しており、今年度から始まった右岸人工ケルミの工事を見学しました。

土砂調整地のイメージ

説明を聞く参加者

施工中の人工ケルミ

※人工ケルミ･･･濁水をせき止めるために設置するあぜ状の高まり。
「ケルミ」はフィンランド語。

見学後の記念撮影

「アンケート結果」について

昨年の１１月に実施したアンケートに７０世帯の方が、学習会や釧路湿原、自然再生事業についてなど回答していただきました。

今後の活動の参考にさせて頂きます。

なお、皆さんから頂いた意見をいくつか紹介します。

○自然再生事業は必要な事なので、もっともっとＰＲすべきです。（新聞等を活用して）

○平日では学習会になかなか参加できない。定員があり、申し込みまでの予定もたたなくて、不参加が多くなります。

「観察活動報告会」

午後からは昨年に引き続き、釧路河川事務所で「観察活動報告会」を行いました。今回は応募していただいた２グループが、日頃から行っている活動などについて報告してくれました。

松田氏

●H25-028 松田　國宏さん、H25-019 臺野　邦子さんの発表

『川レンジャー発足以来参加してきた経験と知識について』と題しまして、新聞記事やパンフレットなどを紹介しながら、「釧路川や釧路湿原」について報告していただきました。特に「釧路川と私達にとって身近な水道水（愛国浄水場の膜ろ過方式）」や「湿原と冷涼な気候についての関係、気候を生かした事業」についても調べており、長年にわたって得た知識を発表していただきました。また、ミシュランガイド北海道に掲載された摩周湖の伏流水を使用しているそば屋など、参加者の関心を引くことも織り交ぜて紹介してくれました。

臺野氏

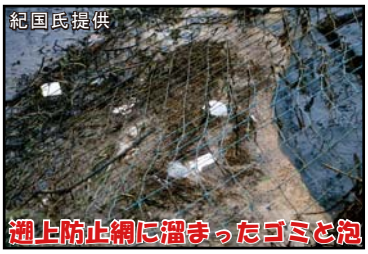
●H25-068 紀国　住枝さん、H25-094 佐藤　保雄さんの発表

『ゴミ問題を考えたい』と題しまして、新聞記事や写真を紹介しながら、新釧路川や仁々志別川などの身近な環境について報告していただきました。

ゴミ問題には、不法投棄など様々な問題があります。その中で、プラスチック類による海洋汚染が深刻化しており、魚類・鳥類などへの多大な被害や人間にまで影響を及ぼすことが懸念されています。そこで、仁々志別川などで発見した不法投棄や河川の水質汚濁について報告していただきました。また、これらを釧路湿原川レンジャー事務局や行政に報告することによって、処理・処分してくれたお話しや、野鳥など動植物の写真も紹介してくれました。

佐藤氏　紀国氏

佐藤氏提供
ゴミの不法投棄


紀国氏提供
遡上防止網に溜まったゴミと泡

紀国氏提供
クチバシが凍ったオオハクチョウ

紀国氏提供
ベニヒワ

●意見交換会

最後に参加者から一人ずつ意見や感想をいただき、今年度の学習会を終了しました。なお、参加者からの抜粋した意見や感想は以下にまとめました。

意見交換会の様子

○自然の変化、また、人工的な変化が見られ、大変参考になりました。
○ゴミの問題は、まだまだこれから考えなければならない問題だと思います。
○久著呂の完成後、学習会でまた現場見学を企画していただければと思っています。
○学習会でバス乗降時に到着先・行き先を言ってくれた方が、わかりやすいと思います。
○冬に湿原へ行く機会が減っているので、今日はとても参考になりましたし、湿原は生き物だなと実感した一日でした。
○下流で綺麗にしても上流で汚す事があるので、標茶・弟子屈の人がもっと参加できる方法がないかと思っています。
○講演会などに行っても若い人の参加が少ないので、次の時代を背負っていく人が、もう少し参加していただけるように、開催する曜日などを工夫していただけたらと思います。
○久著呂川の人工ケルミの今後について非常に関心があります。今作っている木の耐用年数も１０年位だということで、完成後１０年以上経過して湿原に対する土砂の流入が軽減されていくのか、関心を持っていきたいと思っています。
○アンケート結果で報告する事が無いとあったが、何月何日に観察したが「異常ありません」と報告しても良いのでは？

観察活動の報告

釧路湿原川レンジャーの皆さんから寄せられた観察活動の報告を紹介します。自分の住む身近な地域の環境などに興味を持つことは大切な事だと思いますし、関心を持って行動すれば行政も動きますので

今後も皆さんからの報告をお待ちしております。

観察活動で報告された内容とその対応（１月～３月分）

報告日	報　告　内　容	対　　応
H26.1.8	橋梁下部の状況報告	貴重な情報として取り扱う
H26.1.8	エゾシカの群れ、足跡確認	貴重な環境情報として取り扱う
H26.1.12	新釧路川の凍結	貴重な情報として取り扱う
H26.1.28	仁々志別川にハクチョウ飛来	貴重な環境情報として取り扱う
H26.3.2	屈斜路湖の標高について	貴重な情報として取り扱う

休んでいるハクチョウ（新釧路川）
（1/28辻野氏より）

GoogleやYaHoo!などの検索サイトで、「釧路開発建設部」と検索すれば、簡単にみつかります。

国土交通省
あしたを創る　北の知恵
北海道開発局

釧路開発建設部治水課
〒085-8551 釧路市幸町10丁目３番地

釧路湿原川レンジャー事務局
０１２０－８９４６－４２（やっぱりくしろしつげん）
http//www.ks.hkd.mlit.go.jp/